

普及活動情勢報告（令和3年11月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

今年も生育状況は順調です ～ピーマン現地検討会～



ハウス内で活発な意見交換

11月1日、令和3園芸年度からJA高知市長浜支所園芸部に入部した三里の生産者2戸のほ場において現地検討会が行われ、生産者7名が出席しました。定植初期にチャノキイロアザミウマやチャノホコリダニが発生していましたが、早めの対処により発生が抑えられ、生育は順調でした。普及所からはピーマンの主要害虫および天敵について指導しました。部会員は嶺北地区と天敵リレーを行っており、天敵に関する関心が非常に高く、熱心な質問がありました。

今後も普及所は、病害虫を含む栽培管理全体について、ピーマンの生育が順調にいくよう指導していきます。

マッチングに向け見学会実施方法を協議 ～第2回高知市農福連携研究会の開催～



今後の活動計画について協議

11月5日に高知農業改良普及所で、第2回高知市農福連携研究会（事務局：普及所）を開催し、農福関係機関等28名が参加しました。

今年度前期の活動を確認・共有した後、トマトの摘葉や新ショウガの洗浄作業等のマッチング方法を検討しました。農作業見学会の周知方法等について活発に意見が出され、実施方法が決まりました。また、今回は県農福連携就労定着アドバイザーに参加いただき、有意義な助言をいただきました。

今後、普及所では見学会の開催や農福連携ガイド（農業者向け啓発資料）の作成等によりマッチングを促進し、農福連携を強化していきます。

担い手確保に向けて ～産地PR動画に若手が出演～



ユズ収穫撮影中の様子

土佐山ユズ産地では令和元年に3名が親元就農し、地域の担い手として活躍しています。11月15日、高知市土佐山ユズ園にて、ユズ産地の魅力を情報発信するためのPR動画に3名の若手就農者が出演しました。現地では、ユズ収穫の様子や収穫後のユズ果実がカゴに並んだ状態を撮影しました。普及所は3名のプロフィールや産地の概要について紹介しました。参加した若手就農者からは「収穫最盛期の風景が撮れたので土佐山に興味をもってもらえると、うれしい」などの感想がありました。

これからも、普及所は関係機関と連携しながら、新たな担い手確保に向けた支援を継続していきます。

技術交流して良いイチゴを作ろう！ ～介良・五台山合同苺現地・出荷検討会～



「交流と相互研鑽を続けましょう」と部会長挨拶

11月16日、JA高知市介良および五台山支所苺部会の合同現地・出荷検討会が開催され、9名が参加しました。合同開催は数年ぶりで、普段はあまり交流がないため、「ハダニをどうやって押さえる？」「この品種はどんな特徴？」など意見交換が行われ、参加者の刺激になったようでした。

普及所からは、奇形果の発生要因と、芯止まり対策施肥試験の結果を紹介し、参加者と各々の施肥方法と芯止まり発生状況について意見交換を行いました。

普及所は、今後もJA高知市苺部の産地活性化に向けた支援を行っていきます。

農福連携マッチングに向けて！ ～トマト農作業見学・体験会の開催～



生産者から摘葉方法を説明

11月16日、春野町のトマト生産者ほ場で、高知市農福連携研究会(事務局:普及所)がトマト農作業の見学・体験会を開催しました。福祉事業所(4事業所)や関係機関等15名が参加し、生産者から摘葉作業の方法や受委託条件の概要等の説明を受けた後、作業を体験しました。

参加した事業所からは、「現地での作業に関心があるので、前向きに検討したい。」等の意見がありました。

普及所は今後マッチングに向けて、参加した事業所の意向を確認し、農福間の調整を行っていきます。

節油対策を徹底しましょう！ ～ナス部会・目慣らし会～



部会の様子

11月18日JA春野営農経済センターにて、ナス部会・目慣らし会が行われ、部会には7名、目慣らし会には8名の生産者が参加しました。

部会では、令和4園芸年度の事業計画と予算・収量目標などの確認が行われました。また、今年は重油の価格が高騰しているため、節油対策についても話し合われました。

普及所からは、重油代を心配して、ハウス内の温度が確保できないことによる収量低下のリスクについて説明しました。生産者からも昨年度の重油にかかった具体的な金額や節油対策についての話があり、意見交換が行えました。

目慣らし会では、傷や果形による規格の変動について質問が多くあり、改めて規格を確認する良い場となりました。

今後も普及所はJAと協力し、生育調査や巡回を通じて、ナス部会の活動を支援していきます。

高知で農業をはじめよう！ ～就農相談会開催される～



オンライン聴講中の来高者

令和3年11月20日とさのさと『AGRI COLLETT0』にて連携高知就農相談会が開催されました。就農相談は直接面談とリモート面談で行われました。

高知市には5組の相談がありました。1組は県外から来高し、高知県農業について熱心に聞き取りをし、担い手育成センターオンライン中継を聴講されていました。

今後、普及所は関係機関と連携しながら、新たな担い手確保に向けた支援を継続していきます。